

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【公開番号】特開2020-3926(P2020-3926A)

【公開日】令和2年1月9日(2020.1.9)

【年通号数】公開・登録公報2020-001

【出願番号】特願2018-120890(P2018-120890)

【国際特許分類】

G 06 F 3/0481 (2013.01)

G 06 F 3/0488 (2013.01)

G 06 F 3/16 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/0481

G 06 F 3/0488

G 06 F 3/16 6 5 0

G 06 F 3/16 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月26日(2020.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プロセッサと、メモリと、音声入力装置と、音声出力装置と、表示部を有する対話システムの制御方法であって、

前記プロセッサが、前記音声入力装置から音声入力を受け付けて、音声入力の内容を解析して入力データを生成する入力データ生成ステップと、

前記プロセッサが、予め設定されたシナリオ情報から前記入力データに対応するシナリオを選択して、前記シナリオで指定された出力データを生成する出力データ生成ステップと、

前記プロセッサが、前記入力データの優先度を算出する優先度算出ステップと、

前記プロセッサが、前記出力データを準備中のシナリオの有無を判定する判定ステップと、

前記プロセッサが、前記出力データを生成中の前記シナリオがある場合には、前記優先度に基づいて実行するシナリオの出力方法を変更するシナリオ制御ステップと、  
を含むことを特徴とする対話システムの制御方法。

【請求項2】

請求項1に記載の対話システムの制御方法であって、

現在実行中のシナリオを取得する出力内容取得ステップをさらに備え、

前記優先度算出ステップにおいて、前記入力データと現在実行中のシナリオとの関連度を基に優先度を算出することを特徴とする対話システムの制御方法。

【請求項3】

請求項2に記載の対話システムの制御方法であって、

利用状況を解析する利用状況解析ステップをさらに備え、

利用状況の解析結果も加味して優先度を算出することを特徴とする対話システムの制御方法。

**【請求項 4】**

請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の対話システムの制御方法であって、前記シナリオ制御ステップは、前記出力データを生成中の前記シナリオがある場合には、前回の入力データの優先度と、現在の入力データの優先度を比較して、優先度の高い方のシナリオを実行することを特徴とする対話システムの制御方法。

**【請求項 5】**

請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の対話システムの制御方法であって、前記シナリオ制御ステップは、前記出力データを生成中の前記シナリオがある場合には、前回の入力データの優先度と、現在の入力データの優先度を比較して、優先度の高い方のシナリオの出力データを優先的に出力することを特徴とする対話システムの制御方法。

**【請求項 6】**

請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の対話システムの制御方法であって、前記シナリオ制御ステップは、前記出力データを生成中の前記シナリオがある場合には、前回の入力データの優先度と、現在の入力データの優先度を比較して、前記現在の入力データの優先度の方が高い場合には、前回の入力データに対応するシナリオの出力データに、今回の入力データに対応するシナリオの出力データを付加することを特徴とする対話システムの制御方法。

**【請求項 7】**

請求項 1 から請求項 6 のいずれか一項に記載の対話システムの制御方法であって、前記表示部がタッチ入力を受け付けるタッチパネルで構成され、前記入力データ生成ステップは、前記タッチ入力の内容を解析して入力データを生成することを特徴とする前記請求項 1 から請求項 6 のいずれか一項に記載の対話システムの制御方法。

**【請求項 8】**

プロセッサと、メモリと、音声入力装置と、音声出力装置と、表示部を有する対話システムであって、

前記音声入力装置から音声入力を受け付けて、音声入力の内容を解析して入力データを生成する入力データ生成部と、

予め設定されたシナリオ情報から前記入力データに対応するシナリオを選択して、前記シナリオで指定された出力データを生成する出力部と、

前記入力データの優先度を算出する優先度算出部と、

前記プロセッサが、前記出力データを準備中のシナリオの有無を判定する判定して、前記プロセッサが、前記出力データを生成中の前記シナリオがある場合には、前記優先度に基づいて前記出力部で実行させるシナリオの出力方法を変更するシナリオ制御部と、を含むことを特徴とする対話システム。

**【請求項 9】**

請求項 8 に記載の対話システムであって、現在実行中のシナリオを取得する出力内容取得部をさらに備え、前記優先度算出部において、前記入力データと現在実行中のシナリオとの関連度を基に優先度を算出することを特徴とする対話システム。

**【請求項 10】**

請求項 9 に記載の対話システムであって、利用状況を解析する利用状況解析部をさらに備え、利用状況の解析結果も加味して優先度を算出することを特徴とする対話システム。

**【請求項 11】**

請求項 8 から請求項 10 のいずれか一項に記載の対話システムであって、前記シナリオ制御部は、前記出力データを生成中の前記シナリオがある場合には、前回の入力データの優先度と

、現在の入力データの優先度を比較して、優先度の高い方のシナリオを前記出力部で実行させることを特徴とする対話システム。

【請求項 1 2】

請求項 8 から請求項 10 のいずれか一項に記載の対話システムであって、  
前記シナリオ制御部は、

前記出力データを生成中の前記シナリオがある場合には、前回の入力データの優先度と  
、現在の入力データの優先度を比較して、優先度の高い方のシナリオの出力データを前記  
出力部から優先的に出力させることを特徴とする対話システム。

【請求項 1 3】

請求項 8 から請求項 10 のいずれか一項に記載の対話システムであって、  
前記シナリオ制御部は、

前記出力データを生成中の前記シナリオがある場合には、前回の入力データの優先度と  
、現在の入力データの優先度を比較して、前記現在の入力データの優先度の方が高い場合  
には、前記出力部で生成する前回の入力データに対応するシナリオの出力データに、今回  
の入力データに対応するシナリオの出力データを付加させることを特徴とする対話システム。

【請求項 1 4】

請求項 8 から請求項 13 のいずれか一項に記載の対話システムであって、  
前記表示部がタッチ入力を受け付けるタッチパネルで構成され、  
前記入力データ生成部は、  
前記タッチ入力の内容を解析して入力データを生成することを特徴とする対話システム  
。

【請求項 1 5】

プロセッサと、メモリと、音声入力装置と、音声出力装置と、表示部を有する計算機で  
対話を実施させるためのプログラムであって、

前記音声入力装置から音声入力を受け付けて、音声入力の内容を解析して入力データを  
生成する入力データ生成ステップと、

予め設定されたシナリオ情報から前記入力データに対応するシナリオを選択して、前記  
シナリオで指定された出力データを生成する出力データ生成ステップと、

前記入力データの優先度を算出する優先度算出ステップと、

前記出力データを準備中のシナリオの有無を判定する判定ステップと、

前記出力データを生成中の前記シナリオがある場合には、前記優先度に基づいて実行す  
るシナリオの出力方法を変更するシナリオ制御ステップと、  
を前記計算機に実行させるためのプログラム。